

日本地すべり学会アンケート集計結果

回答数 49

アンケート掲載号：Vol.41 No.2 (2004年7月号)

アンケート期限：8月31日

(社)日本地すべり学会 アンケート集計結果(2004.10.18)

アンケートにご協力下さい

(社)日本地すべり学会 広報委員会

(社)日本地すべり学会の会員の皆様のお考えをお聞きし、今後の学会活動をより充実したものにするために、広報委員会がアンケート調査を行うことになりました。ぜひご協力下さい。またお手数ですが、回答は別紙の回答用紙にお書きいただき、日本地すべり学会事務局までFAXをお願いいたします。

アンケートの集計結果は、ホームページ (<http://japan.landslide-soc.org/>) 等において会員の皆様にお知らせする予定にしております。

日本地すべり学会誌について質問します。

【問1】学会誌の読み方はどれですか？(1つ回答)

ア.毎号ほとんど読む イ.目次を見て必要な記事を読む ウ.ほとんど読まない

【問2】ほとんど読まない方へ どのような記事があればよいと思いますか？(自由記述：)

【問3】良く読む内容は次のうちどれですか？(複数回答可)

ア.論文・総説・研究ノート イ.報告・論説 ウ.ニュース エ.講座 オ.シリーズ カ.学会活動報告 キ.会告ク.広告

【問4】学会誌にあると良いと思う記事内容等(複数回答可)

ア.学校教育素材 イ.技術者育成素材 ウ.情報交換の場 エ.投書欄 オ.その他()

【問5】学会誌の利用の仕方(複数回答可)

ア.成果発表 イ.技術調査 ウ.事例収集 エ.教育・学習 オ.その他()

【問6】学会誌への投稿経験の有無(最新の投稿について1つ回答)

投稿したことがある(ア.1年以内 イ.2~5年前 ウ.6~10年前 エ.10年前より以前) オ.投稿したことがない

【問7】全ての方へ、今後地すべり学会誌へ投稿する可能性・意志がありますか？(1つ回答)

ア.ある イ.あるが困難だと思う ウ.ない

【問8】投稿の可能性・意志があるが困難だと思う方へ、その理由は何ですか？(複数回答可)

ア.時間が無い等の個人的事情 イ.なんとなく敷居が高い ウ.別刷りが高すぎる エ.学術雑誌としての評価・レベルが低すぎる オ.レベルが高すぎる カ.査読が厳しすぎる(厳しそう) キ.英文誌でない ク.適当な区分がない(どのような区分が必要か：) ケ.その他()

【問9】投稿の可能性・意志がない方へ、その理由は何ですか？(複数回答可)

ア.興味・利益がない イ.なんとなく敷居が高い ウ.別刷りが高すぎる エ.学術雑誌としての評価・レベルが低い オ.英文誌でない カ.その他()

【問10】期待する講座、シリーズ、特集の内容

(自由記述：)

国際部の活動について質問します。国際部は主に、 国際的な研究会・シンポジウム等の情報提供； 国際的な突発災害等の情報提供； 外国語論文・報告等の日本語抄訳の作成； 国際学会等へのツアー参加の実施、を行っております。

【問11】国際的な突発災害の情報等をメーリングリストに送信することは必要でしょうか？(1つ回答)

ア.必要 イ.不要 ウ.どちらとも言えない

【問12】上記設問11に関して、日本語の抄訳は必要ですか？(1つ回答)

ア.必要 イ.不要 ウ.どちらとも言えない

【問13】上記設問11に関して、これらの情報はこういった面で役にたちますか？(1つ回答)

ア.研究 イ.業務・仕事 ウ.市民防災活動 エ.行政の防災活動 オ.その他

研究調査部の活動について質問します。

【問14】学会では1研究につき年間2.5万円程度の研究助成を行っています。今後、学会の研究・開発助成金をどのような分野に対して増やすべきだと考えますか？(複数回答可)

ア.狭義の地すべり関連 イ.対策技術 ウ.崩壊・土石流・岩盤崩落などの広義の地すべり関連
エ.その他()

【問15】地すべり学会は、他の関連学会(砂防学会、地盤工学会、自然災害学会、土木学会、林学会、地形学連合、地質関連諸学会など)と共同して、研究発表会、シンポジウムなどを開催すべきだと考えますか？(1つ回答)

ア.共同開催に賛成(希望する関連学会名：) イ.共同開催に賛成しない

【問16】地すべり学会は、地すべり危険度判定手法の開発や地すべり動態観測結果による概成判定手法開発などに関する受託業務を行っています。今後、地すべり学会で受託する業務として、どのような業務が望ましいと考えますか？

(自由記述：)

事業計画部の活動について質問します。

【問17】これまで参加された地すべり学会のシンポジウム、普及講演会、研究発表会に参加された印象を教えてください(詳しい開催年度等詳細については記入不要です)。

2-1.シンポジウム ア.参加して良かった イ.参加したが良くなかった ウ.どちらとも言えない エ.参加したことがない
2-2.普及講演会 ア.参加して良かった イ.参加したが良くなかった ウ.どちらとも言えない エ.参加したことがない
2-3.研究発表会 ア.参加して良かった イ.参加したが良くなかった ウ.どちらとも言えない エ.参加したことがない

【問18】シンポジウム、普及講演会、研究発表会に参加しなかった理由についてお教えてください。(1つ回答)

ア.興味のあるテーマではなかった イ.予定が合わなかった ウ.開催地が遠すぎて行けなかった エ.開催されることが分らなかった オ.その他

【問19】地すべり学会で今後、シンポジウム、普及講演会で取り上げて欲しいテーマがありましたらお答えください。

(自由記述：)

アンケートにご協力ありがとうございました。最後に回答していただいた方の属性について質問します。

【問20】業種(1つ回答)

ア.建設業 イ.建設コンサルタント ウ.メーカー エ.官庁・地方自治体 オ.公社・公園・公益法人 カ.NPO・NGO
キ.資材メーカー ク.学校 ケ.その他

【問21】職務(1つ回答)

ア.研究者 イ.技術者 ウ.教員 エ.行政職・事務職 オ.学生・研究生 カ.その他

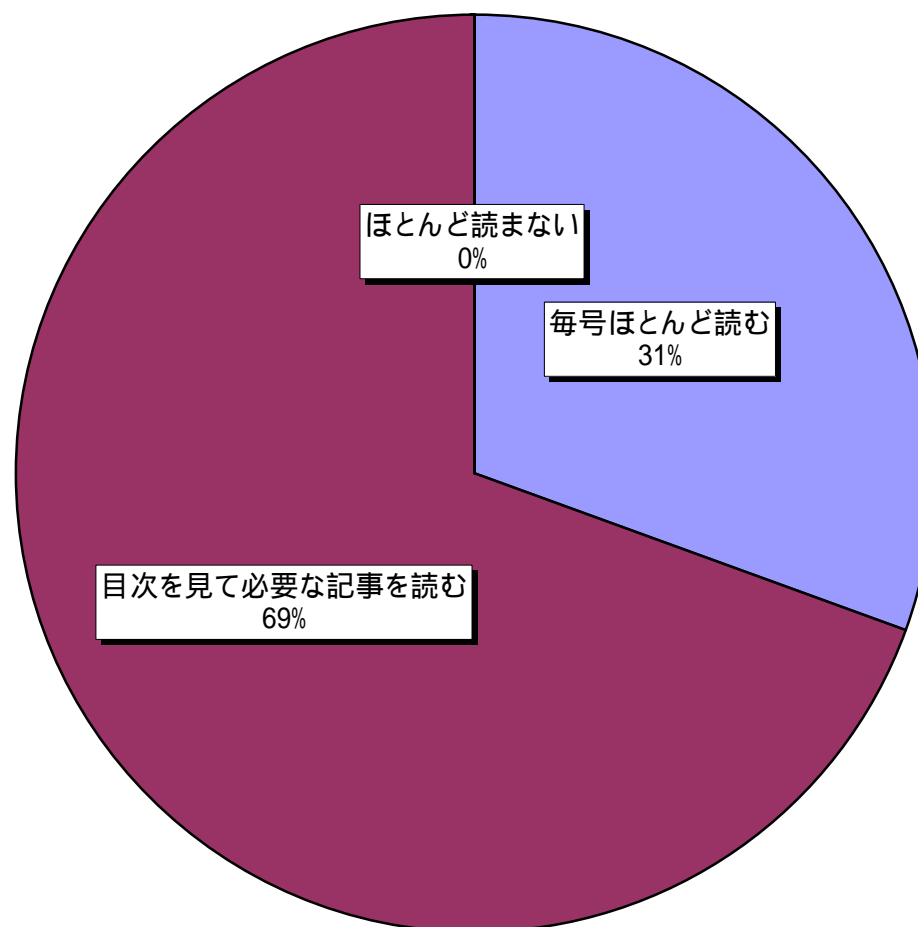
【問22】年齢(1つ回答)

ア.20才未満 イ.20~24才 ウ.25~29才 エ.30~34才 オ.35~39才 カ.40~44才 キ.45~49才 ク.50~54才
ケ.55~59才 コ.60~64才 サ.65~69才 シ.70~74才 ス.75~79才 セ.80才以上

【問23】性別

ア.男性 イ.女性

【問1】学会誌の読み方はどれですか？(1つ回答)

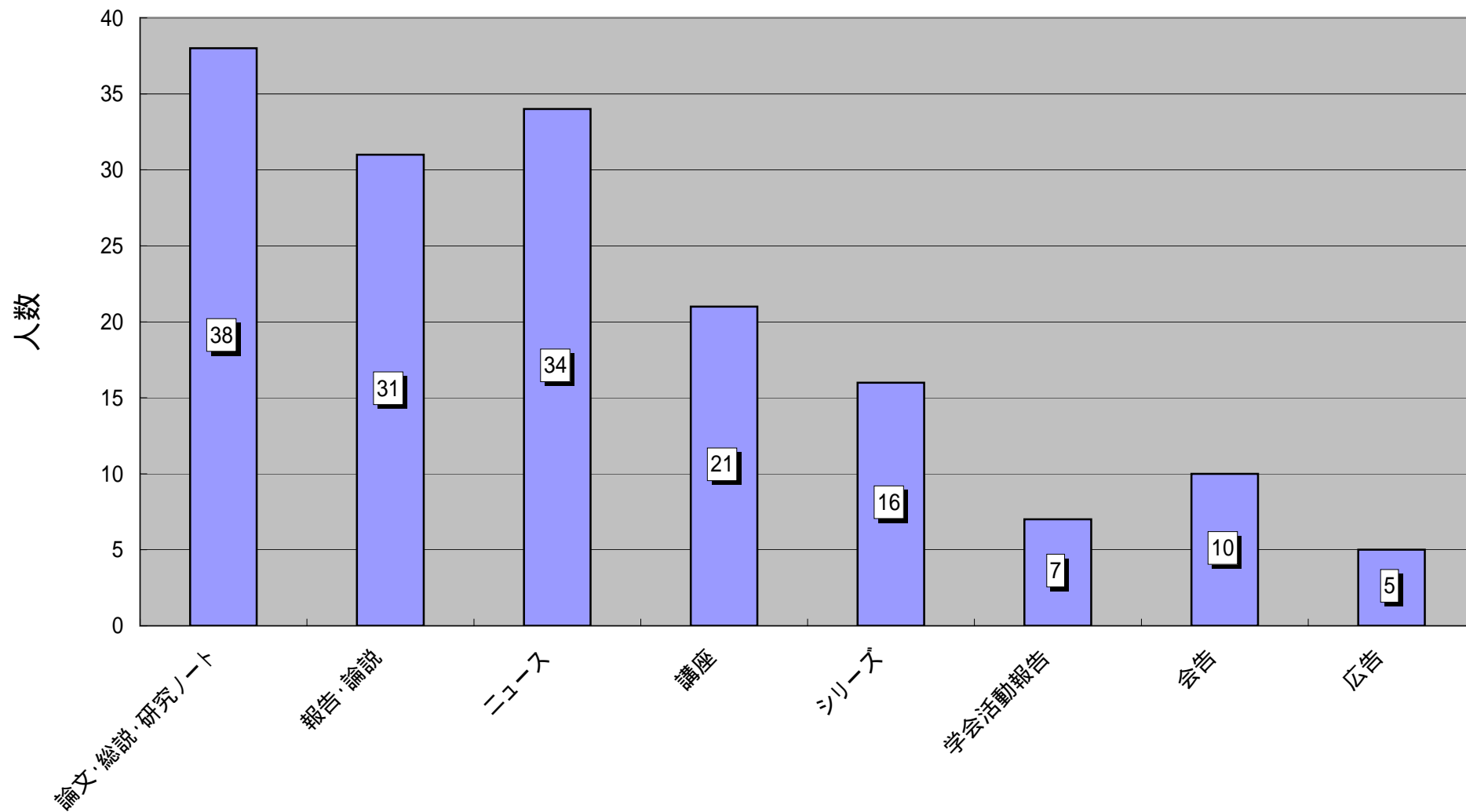


【問2】ほとんど読まない方へ どのような記事があればよいと思いますか？

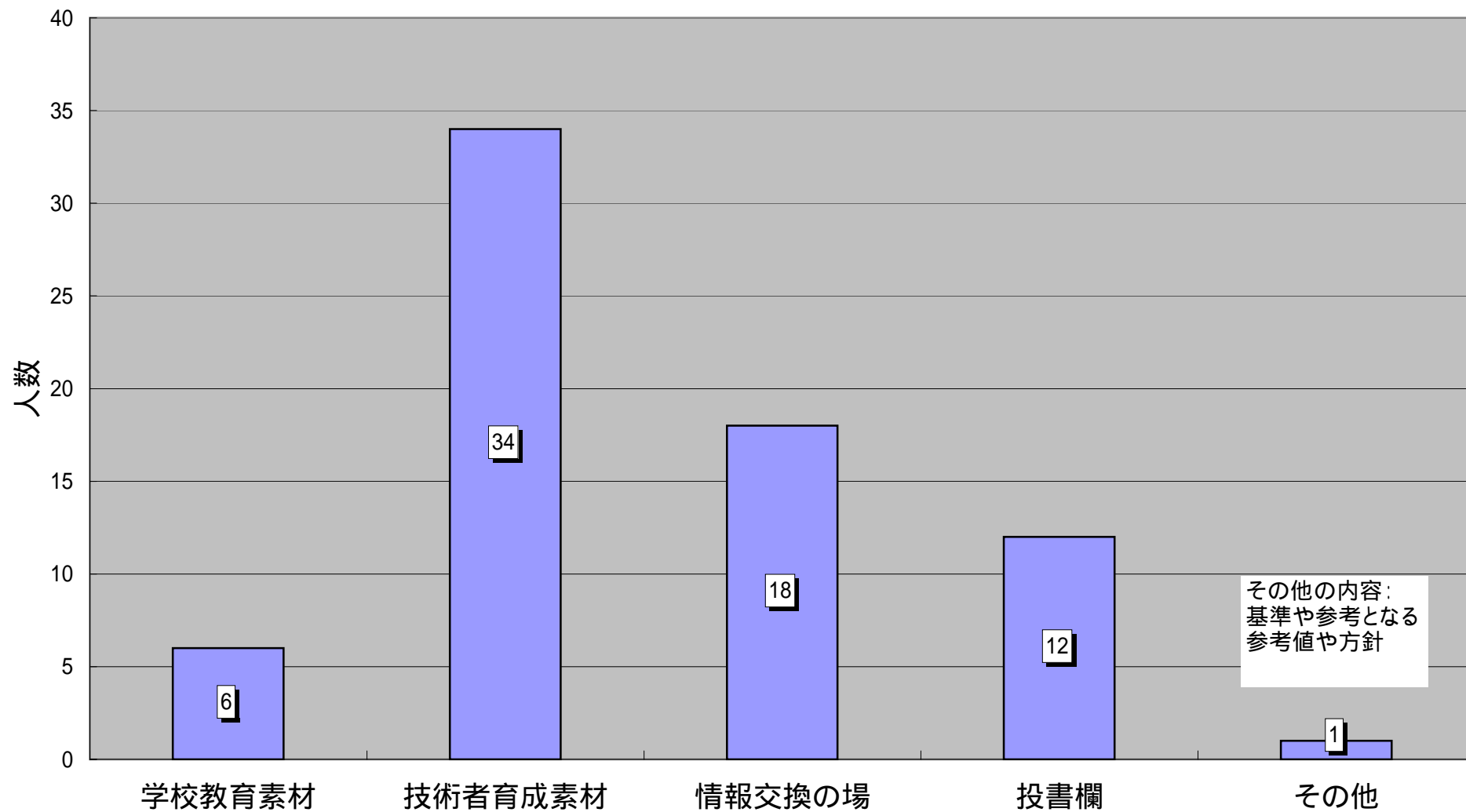
(自由記述：)

- 実務に役立つ論文
- 地すべり機構の論文だけではなく対策方法についてのものが欲しい
- 年を増すにつれ(内容に)ついて行けなくなって来た

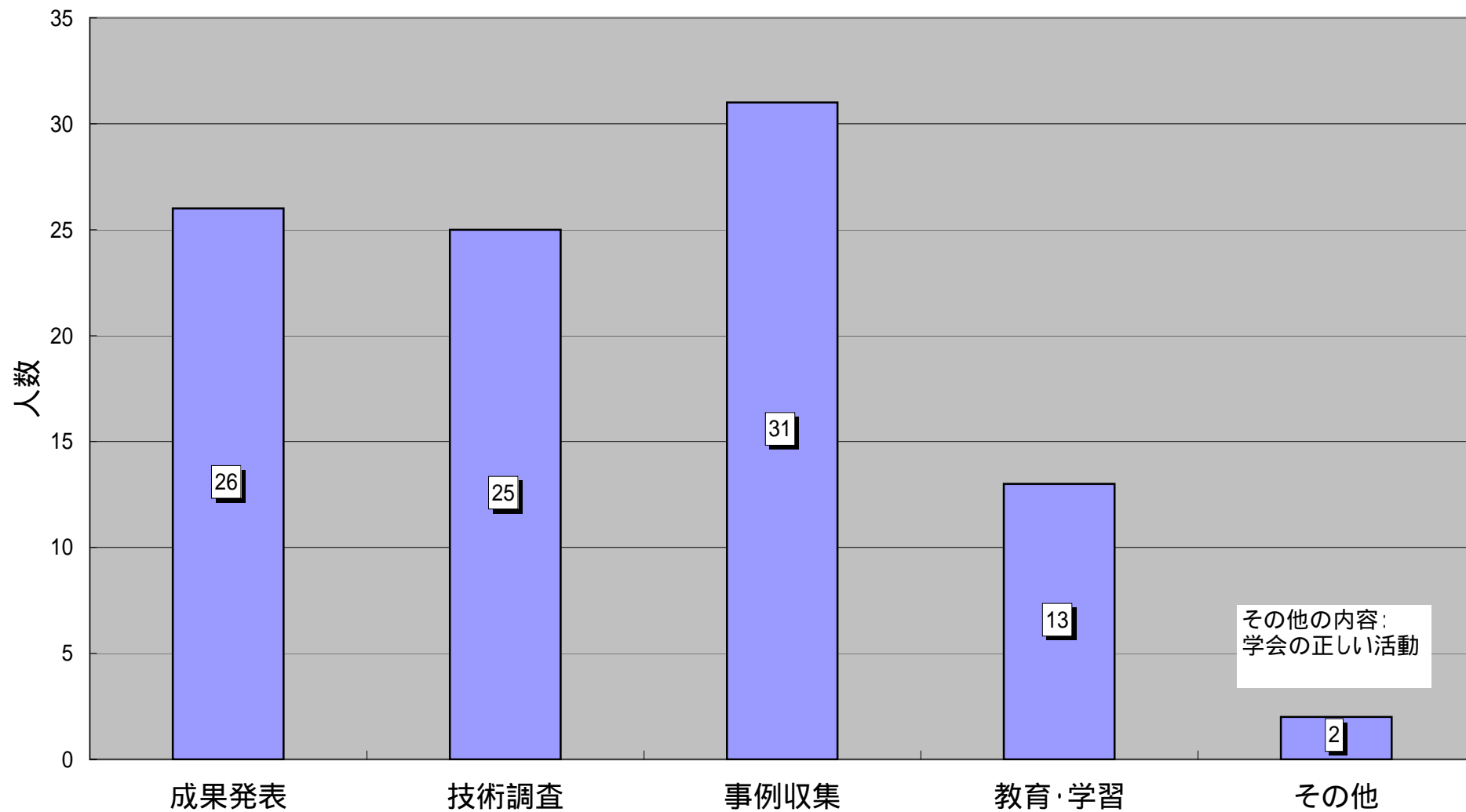
【問3】良く読む内容は次のうちどれですか？(複数回答可)



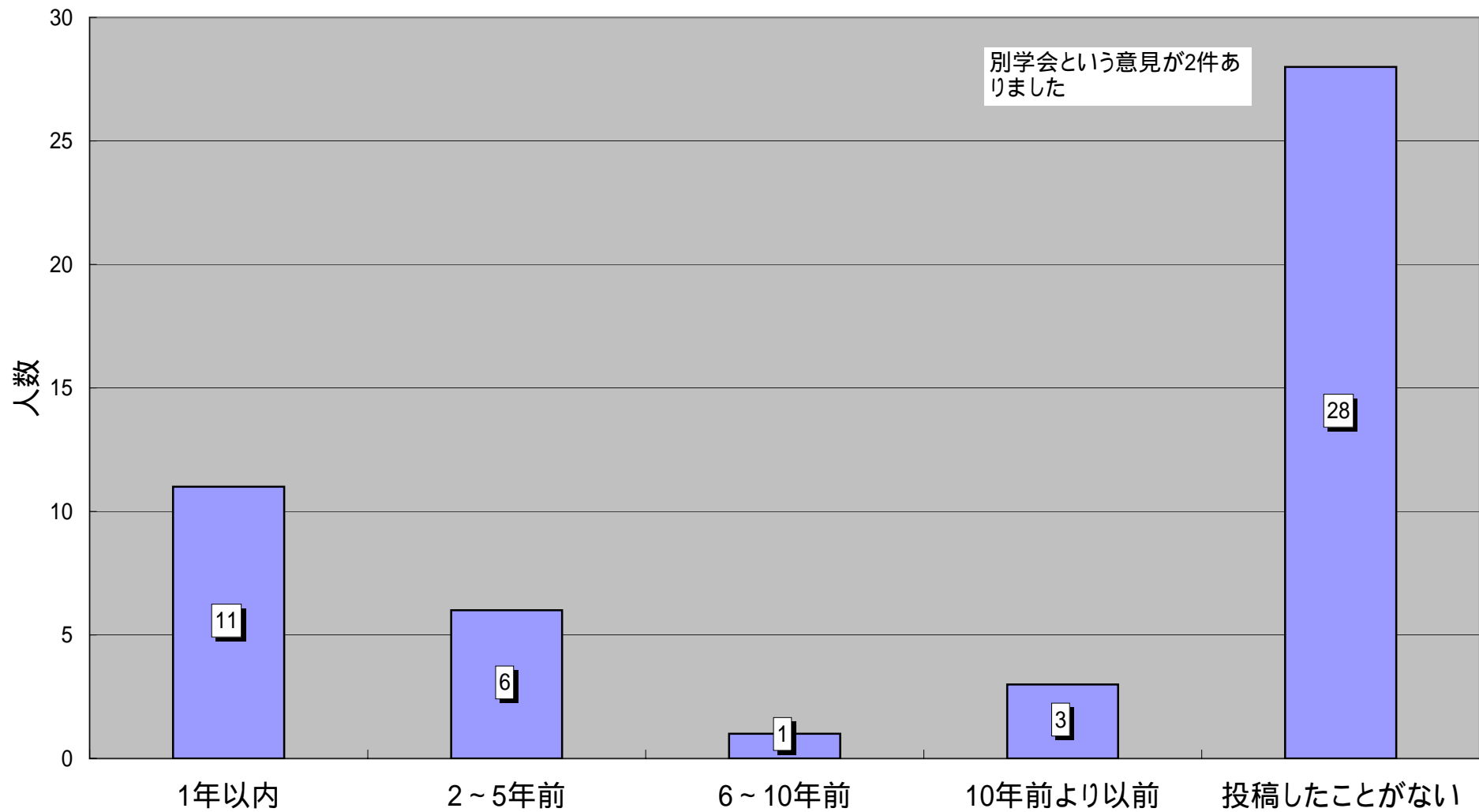
【問4】学会誌にあると良いと思う記事内容等(複数回答可)



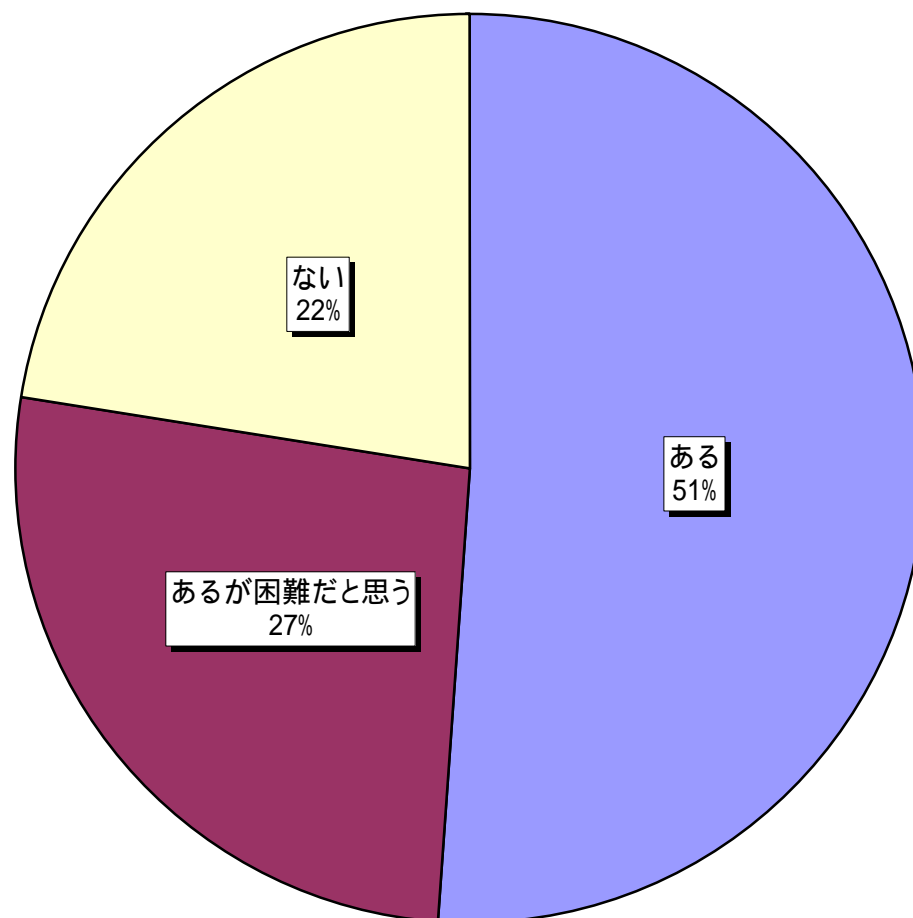
【問5】学会誌の利用の仕方(複数回答可)



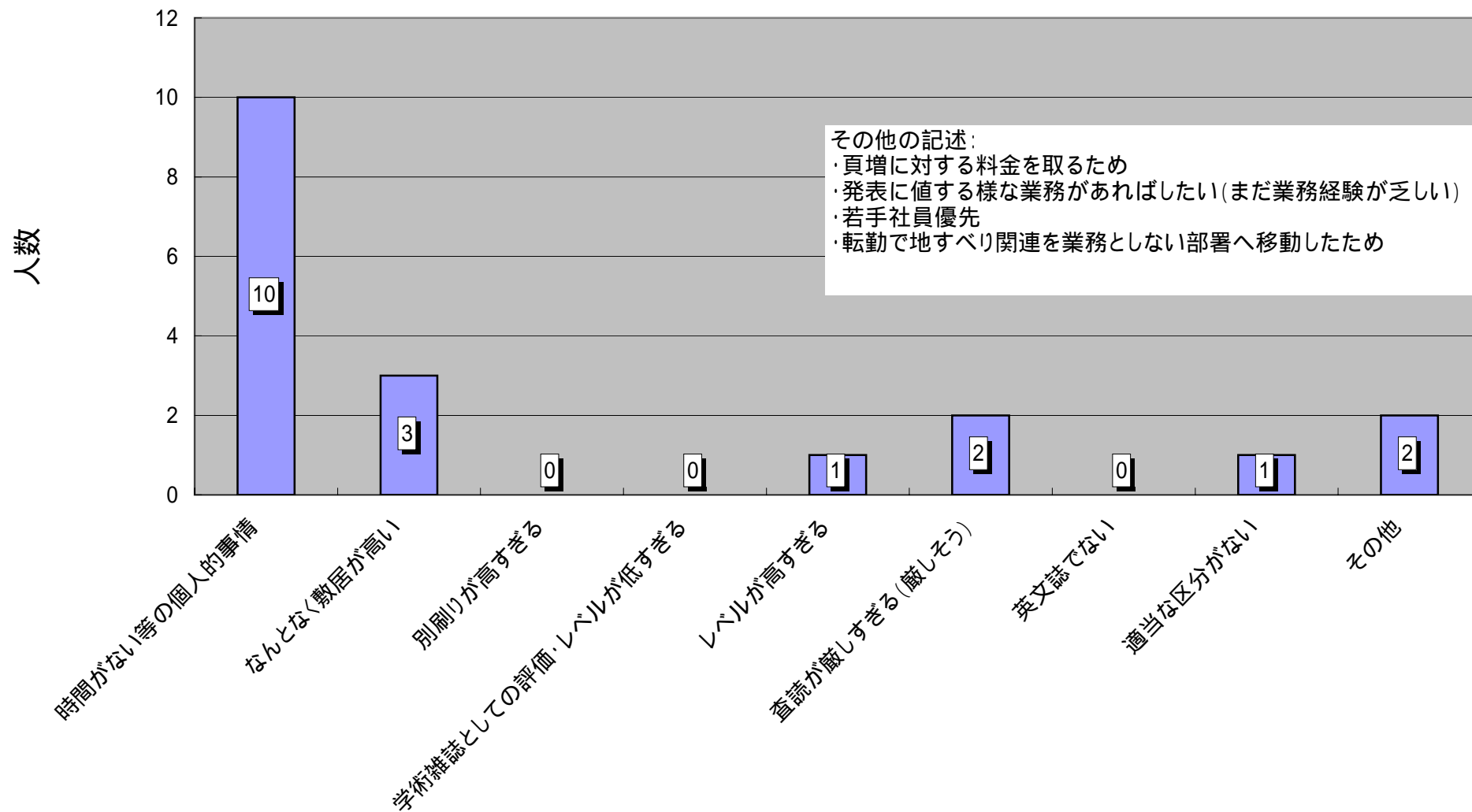
【問6】学会誌への投稿経験の有無(最新の投稿について1つ回答)



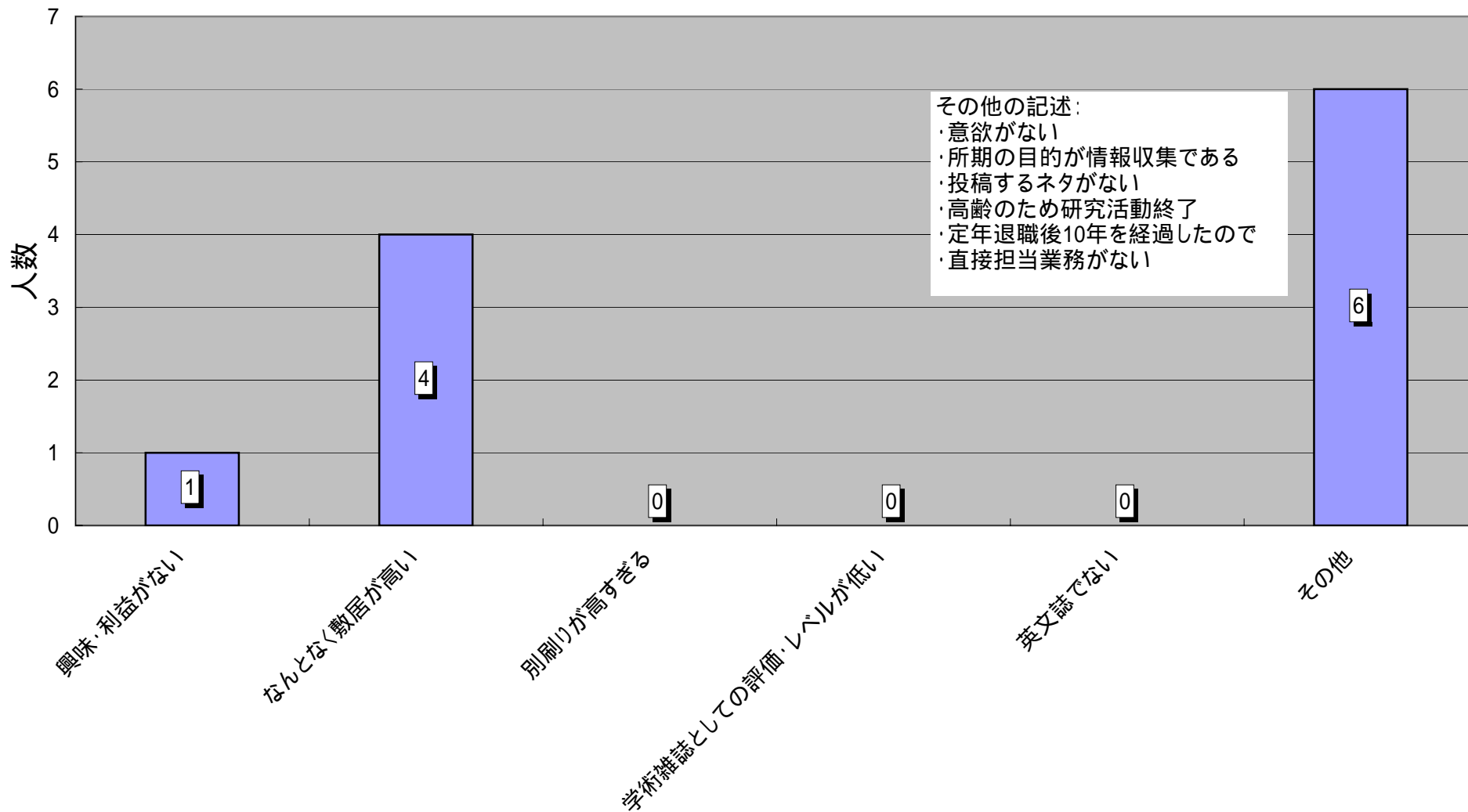
【問7】全ての方へ、今後地すべり学会誌へ投稿する可能性・意志がありますか(1つ回答)



【問8】投稿の可能性・意志があるが困難だと思う方へ、その理由は何ですか？(複数回答可)



【問9】投稿の可能性・意志がない方へ、その理由は何ですか？(複数回答可)

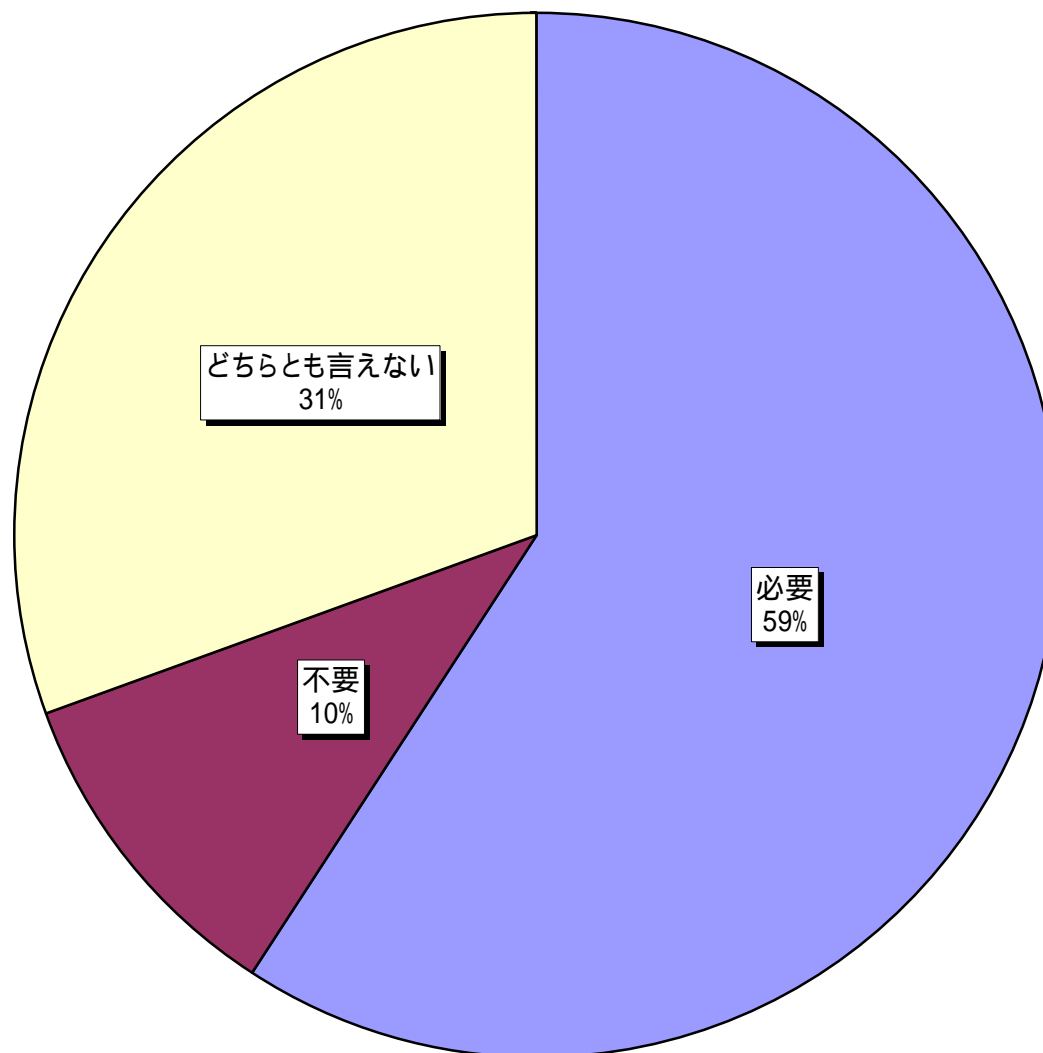


【問 10】期待する講座、シリーズ、特集の内容

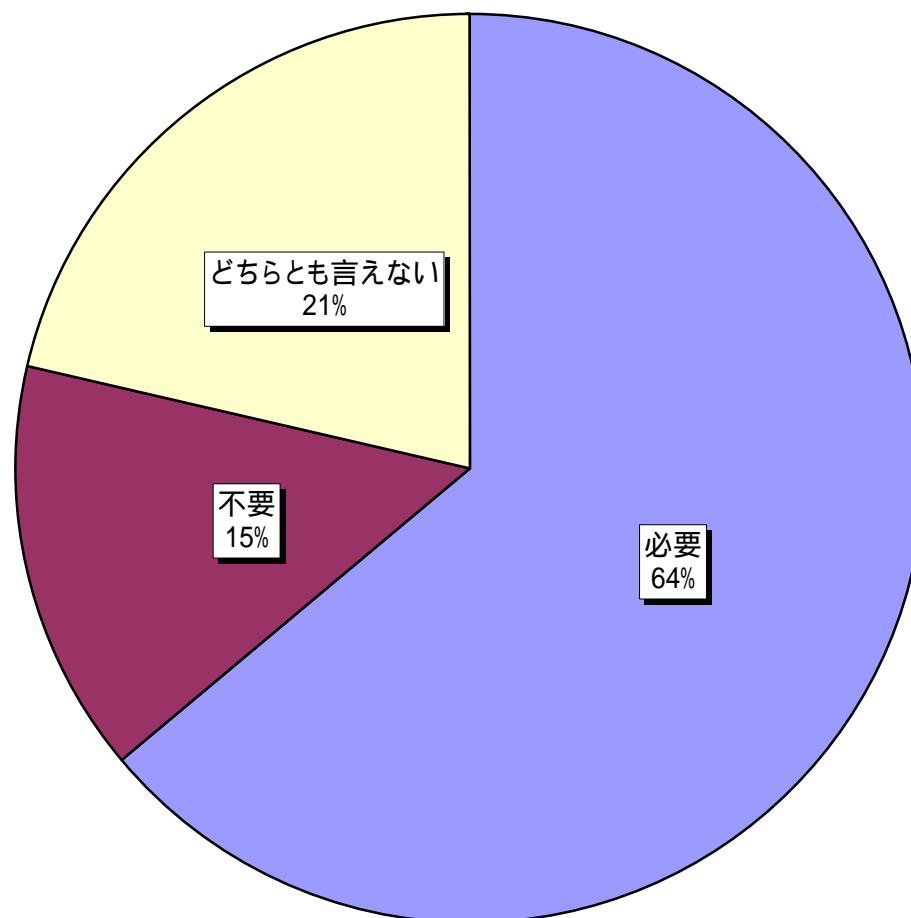
(自由記述：)

- 維持管理
- 対策技術 (なるべくならば工法の宣伝色がないものが望ましい)
- 対策・施工・設計に関する失敗例の紹介
- 技術者教育関係
- プレゼンテーション方法や PI についての具体的方法について
- アジアで貢献する日本の斜面技術、災害経験学としての日本文化
- 地下水の調査、計測技術
- 工学部出身なので、理学的な基本用語の解説が欲しい。
 - ◇ (基本的な(当たり前の)語句でも、入門者向けに解かりやすく!!)
- "目で見えるシリーズ"は解かりやすくして良い
- 地すべり事例
- トピックス
- なぜ斜面崩壊が起きたり起きなかったりするののか、その原因
- 全ての地すべり解析手法の考えと応用
- 現段階でも(私には)情報量が多いと感じています。購読側の選択で充分と思います。

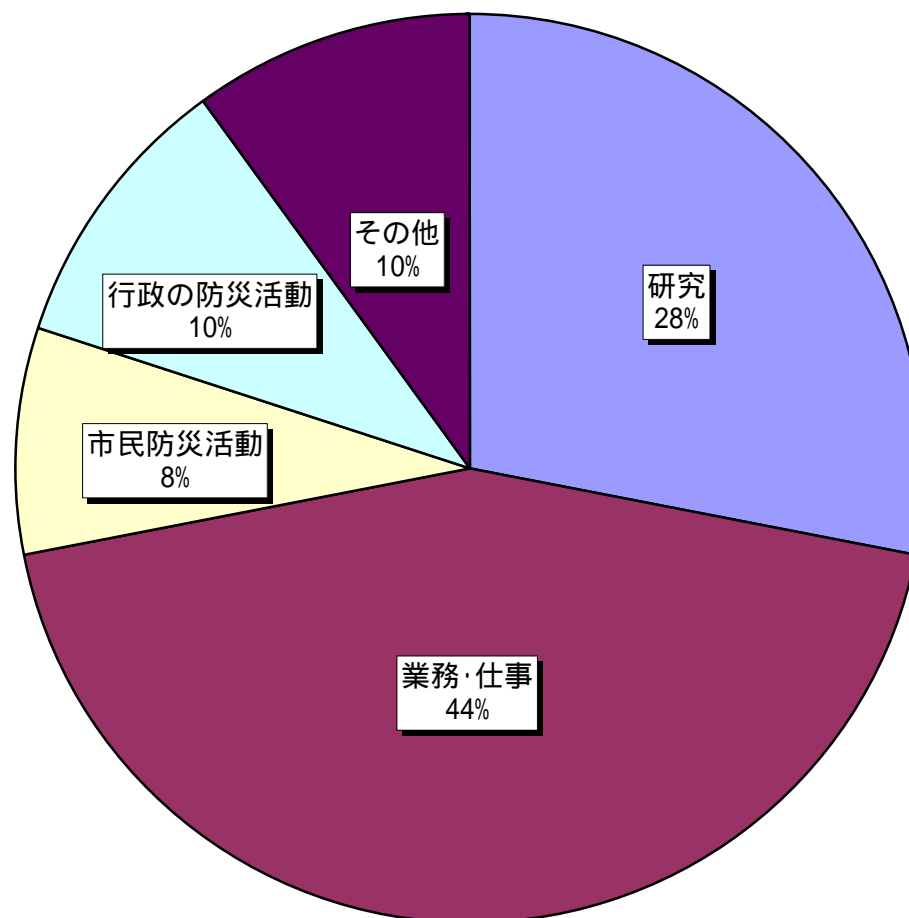
【問11】国際的な突発災害の情報等をメーリングリストに送信することは必要でしょうか？(1つ回答)



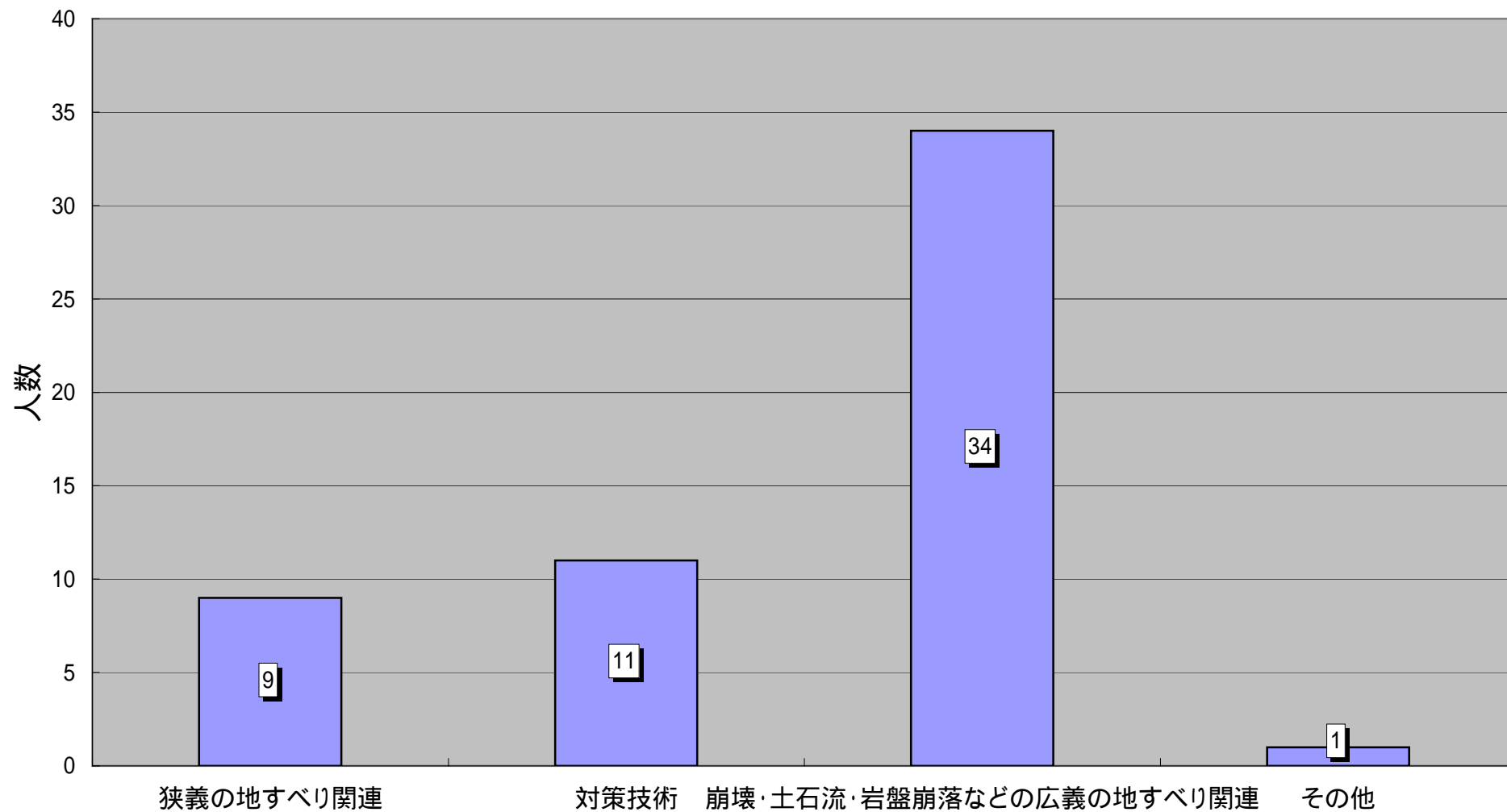
【問12】上記設問11に関して、日本語の抄訳は必要ですか？(1つ回答)



【問13】上記設問11に関して、これらの情報はこういった面で役に立ちますか？(1つ回答)

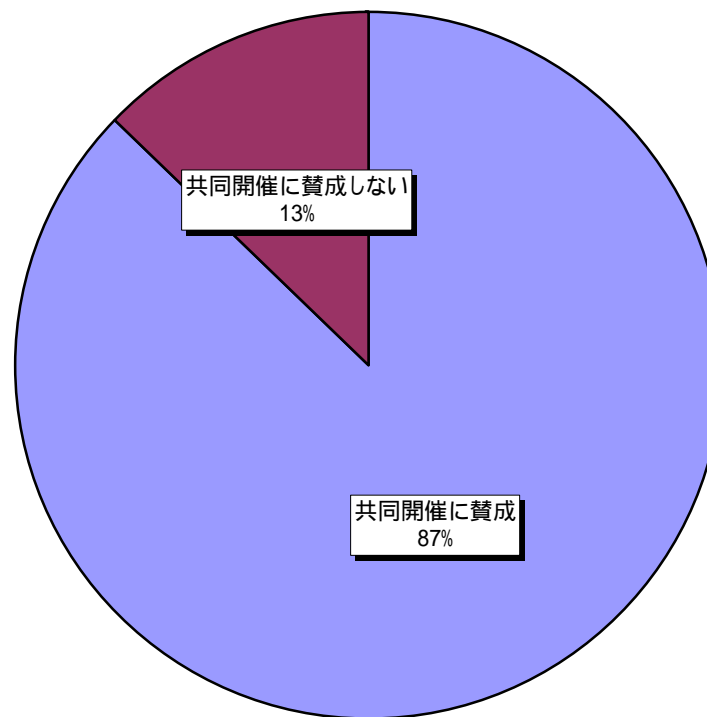
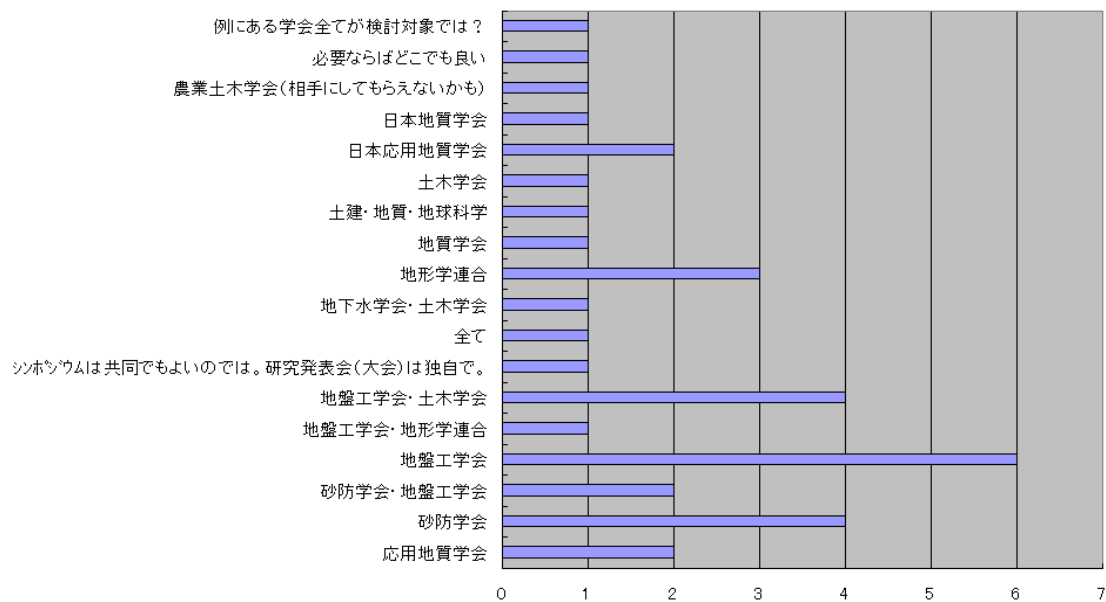


【問14】学会では1研究につき年間25万円程度の研究助成を行っています。
今後、学会の研究・開発助成金をどのような分野に対して増やすべきだと思いますか？(複数回答可)



【問15】地すべり学会は、他の関連学会(砂防学会、地盤工学会、自然災害学会、土木学会、林学会、地形学連合、地質関連諸学会など)と共同して、研究発表会、シンポジウムなどを開催すべきだと思いますか？(1つ回答)
 賛成の場合には、どの学会と共同開催を希望しますか(記述式で回答)

共同開催学会



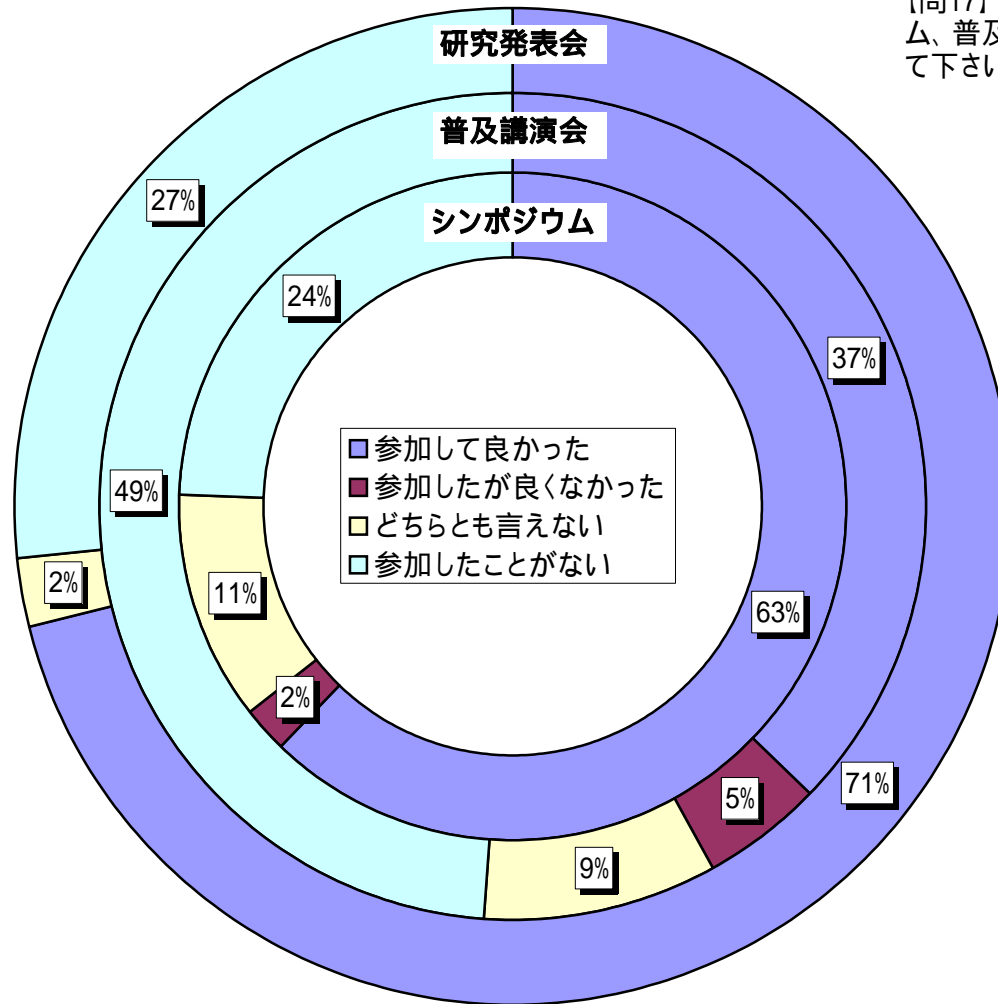
【問 16】地すべり学会は、地すべり危険度判定手法の開発や地すべり動態観測結果による概成判定手法開発などに関する受託業務を行っています。今後、地すべり学会で受託する業務として、どのような業務が望ましいと考えますか？

(自由記述：

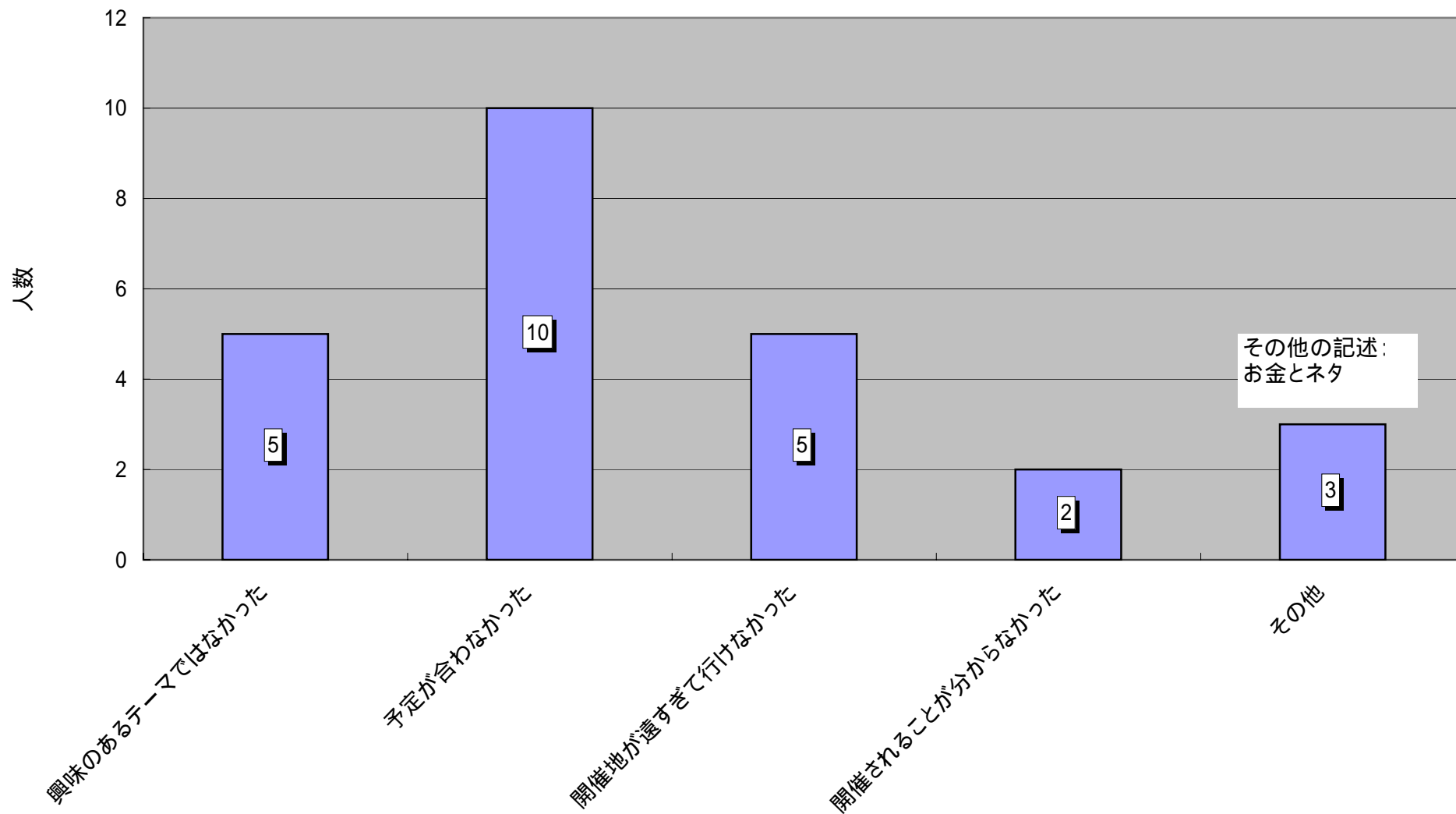
)

- 研究・新技術・新分野の開拓につながるもの、本の出版に結びつくもの
- 学会は業務を受託すべきではない。
- 防災意識・啓蒙活動
- 財団法人が行っている業務を学会として行う
- 民間企業にはできない業務
- 地すべり災害史・文化遺産としての地すべり
- 豪雨災害の予測技術
- わからない。現在の受託業務の内容を知らないので。
- 素人(住民)にでも、比較的判断しやすい危険度判定手法
- 基準書作成等
- 各現場における第三者的立場による判断など
- 判定手法の開発の継続(各地すべり形態ごと)
- 人工改変と地すべり
- 地すべりは地域性が多様で業務内容で限定すべきではないと思います
- 地すべり観測機器や地すべり対策工の維持 管理手法、更新目安判断の手法研究

【問17】これまで参加された地すべり学会のシンポジウム、普及講演会、研究発表会に参加された印象を教えてください



【問18】 シンポジウム、普及講演会、研究発表会に参加しなかった理由についてお教えてください。(1つ回答)

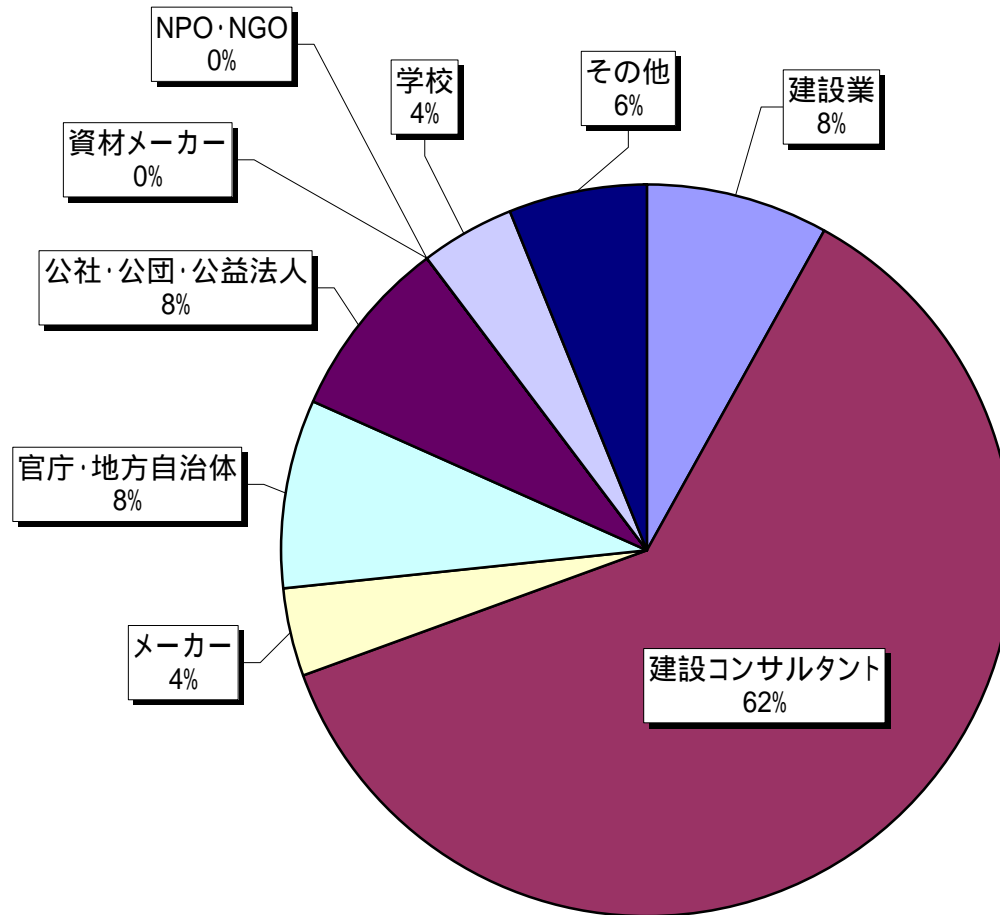


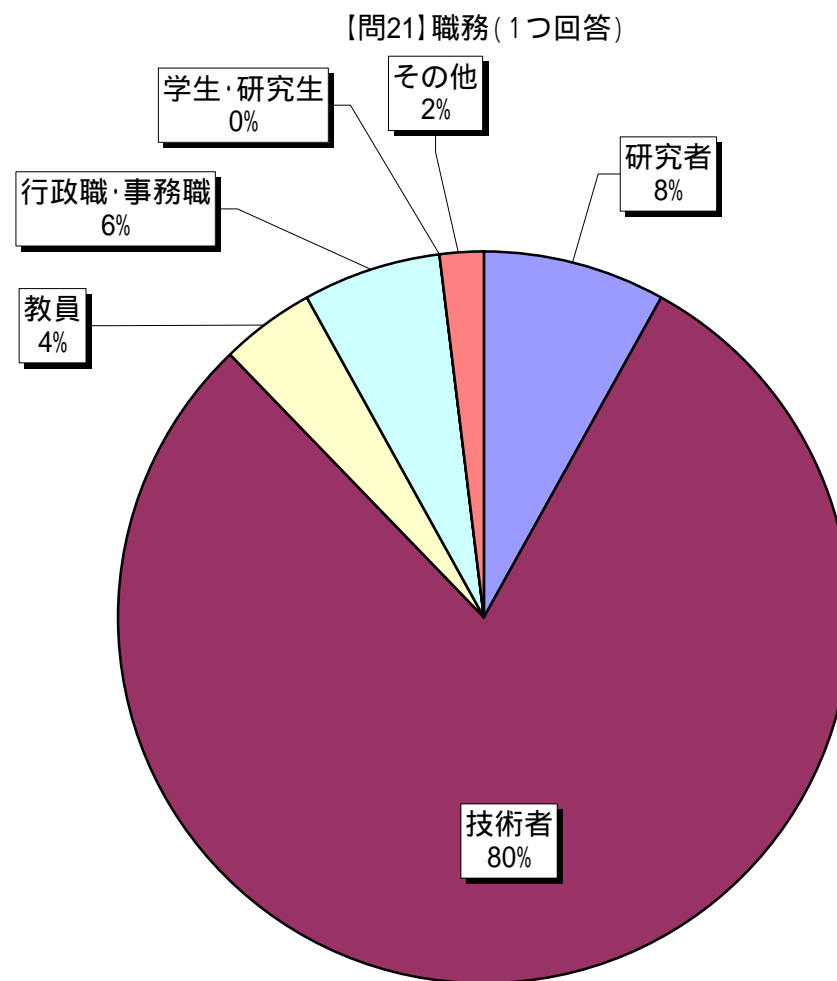
【問 19】地すべり学会で今後、シンポジウム、普及講演会で取り上げて欲しいテーマがありましたらお答えください。

(自由記述：)

- 対策工
- 一般市民向け講座
- 民(素人)に開いた講義やシホ^oの開催
- 防災ボランティア団体との連携
- すぐ役立つ地すべり学。継続教育
- 地域連携に関する話題、危機管理に関する話題
- 災害現場の見学会
- 住民への活動報告、住民と一体化した地すべり教育
- 地すべりと地下水のかかわりについて何でも
- 市民への防災活動のあり方について
- 地すべりを真近で見た(目撃・遭遇)様子(データ)・経験談
- 維持管理技術に関することをもっと取り上げて欲しい

【問20】業種(1つ回答)





【問22】年齢(1つ回答)

